

2025 年度競技会における運用について

2025 年 3 月 24 日

競技委員会・審査委員会

1. 裏セットの適用について

本部公式大会 適用禁止

(本部公式大会とは全日本&女子&シニア、国スポ、フェスティバル、春・夏本部、ブロック、JOC ジュニア)

地方公式大会 適用可

(地方公式大会とは 47 都道府県協会・連盟、部会主管の大会)

(適用できるのは 200 個撃ちで、且つセット時間の都合や射撃場への追加料金等
主管する協会が運営上必要と判断した場合に限る)

2. ドレスコードについて

ISSF 基準を適用 (ISSF 射撃競技諸規定集 2023 年版)

スポーツに適さない又は不適切な服装は認めない。

(カーキ色×、カモフラージュ× など)

1 日目審判団により NG 服着用と判断された場合、替えの持参が無い場合は、やむを得ず認めるが、審判団より注意。2 日目以降は是正しないと出場は認めない。

ベストへの JPN 表記は自由とする。

(地方公式において主管協会は該当選手がいた場合、口頭で説明の上是正を促してください。)

3. 道具について

メガネ、イヤーマフ・イヤープラグ (耳栓) は必ず着用する。(ない選手には協会保管品を貸し出す)

イヤーマフ・イヤープラグ (耳栓) については電子装置類が付いているモノは使用禁止。

アップルウォッチ及びそれに類するスマートウォッチや電子装置は使用禁止。

4. 12 秒のスタート開始について

前の射手が発射し、命中失中が確定した後から。

5. 自動銃とレピータ銃の使用について

スキート種目は地方公式大会のみ認める。(本部公式大会は認めない)

トラップ種目は本部公式大会・地方公式大会共に認めない。

6. 据銃/拳銃練習について

トラップ種目の試射前の据銃練習は可とする。

スキート種目のファイナル試射前の拳銃練習(3番、4番、5番)は可とする。

7. アシスタントレフェリーについて

国内大会では、選手は審判の指名のもと記録とサイドレフェリーにつく。(代理人可)

これに従わず次の射団がスタートした場合その選手はサイドレフェリー不履行として、最終ラウンドの最終ヒットから1点減点する。(P297 9.16.4.1 b))

8. クレー射撃標的公式セット標準手順について

2025年1月12日ホームページ掲載及びザ・シューターズ318号に記載内容に基づく。

特に2024年10月24日ホームページ掲載「地方公式におけるクレーセットの厳格のお願い」を厳守してください。(引き続きセットを抜き打ちで確認する場合があります)尚、セット方法等知りたい場合は、競技・審査委員会よりレクチャーいたします。

9. 地方協会におけるISSFルールに基づく125撃+F大会の運営について

審判団は最低1名以上の国際審判員を置く事とする。(←前回までは5名以上)

(地方協会では準備できない場合は本部からの派遣も可)

タイマーは極力用意する(他競技のタイマーでも可)

10. その他

地方公式において1大会のみの変更(抽選方法・ラウンド間の休憩など)がある場合は、事前に選手へ周知し理解を得るようにしてください。

以上